

第 13 号	令和8年3月9日 松山市立湯山中学校	
	【学校の教育目標】 笑顔・夢・挑戦 諦めない生徒の育成	

○校長室より「3つの別れの言葉」

校長 池田 秀彦

暖かい日が続き、校庭の桜のつぼみが、わずかに色づいてきました。今年も早くから桜の花が咲きそうです。卒業式には、文字どおりこれら桜の木々が花を添えてくれるのかもしれませんが。いよいよ今年度のまとめとなる3月を迎えます。生徒の成長には、一人一人の頑張りと努力が、そして、それを支えてくださったたくさんの人の励ましがあったことと思います。ぜひご家庭でも、卒業や進級を前に1年間を振り返り、お子様の成長と一緒に喜んでください。また、生徒たちには、一日一日を大切に、友達や先生と多くの思い出を作ってほしいと思います。

さて、3月はお別れの月でもあります。尾道三部作で知られる映画監督の故・大林宣彦さんが映画の中でいつも使う別れの言葉は、「ありがとう」「ごめんなさい」「さようなら」だそうです。「ありがとう」とは、二人を出会わせてくれた運命と、ぼくに会ってくれたあなたへの感謝。「ごめんなさい」はそのあなたにもらったものの大きさに対して、ぼくがあげることのできなかった多くの事についての申し訳なさ。そして最後には、礼儀正しく「さようなら」。そうして、人は「ありがとう」の数だけ賢くなり、「ごめんなさい」の数だけ優しくなり、「さようなら」の数だけ愛を知るのだそうです。

私たちはとかく成功体験にばかり目が行きがちですが、実は、失敗の中から学ぶこともあります。いや、むしろその方が多いかもしれません。学校では価値観や性格が違う子どもたちが共に活動します。この1年間を振り返ってみると、生徒は、ケンカやトラブルがあっても、集団生活を通してたくましく乗り越え、「ごめんなさい」の数だけ誠実さを学び、「ありがとう」の数だけ大きく成長してくれていたように思います。これから多くの「さようなら」があります。生徒は、どれだけたくさんの愛を知ることができるのでしょうか。

17日には、53名の3年生が卒業します。卒業生と保護者の皆様には心からお祝い申し上げますとともに、子どもたちへの指導・支援に関わってくださった全ての方々に対して厚くお礼申し上げます。また、他の学年の生徒も現在一年間の総まとめに取り組んでおります。進学・進級への大切な残りの日々、変わらぬご協力・ご支援を引き続きよろしくお願いいたします。



○卒業式に向けて（3年生）

3月5日・6日に県立高校一般入試を終え、3年生は卒業式に向けての準備を始めました。卒業式の練習では、心構えなどについて話を聞き、所作について確認していました。その話を聞く姿勢から、緊張感のある空気を感じました。また、今年も卒業式の中で記念合唱が行われます。合唱練習についても、1音1音確認しながら、互いに声を掛け合いながら進められていました。当日には、きっとまた素晴らしい歌声を披露してくれるでしょう。さらに、お世話になった学校をきれいにしようと、奉仕作業が企画されていました。中でも、正門横の外壁は長年の蓄積による汚れが目立ってきていたため、3年生の男子が中心となってブラシで磨き続け、見事ピカピカに仕上がりました。

3年生が登校するのもあと1週間ほどとなりました。中学校生活を名残惜しみ、卒業に向けて心と身体の準備を万全にしてほしいと思います。そして、いよいよ3月17日が第79回卒業証書授与式です。義務教育課程の有終の美を飾るよき日になりますように願っています。



【正門横の外壁の掃除】



【アルト・ソプラノ合唱練習】



【男声合唱練習】

○思春期教室（3年生「性教育」）

2月20日に3年生を対象とした思春期教室を実施しました。まず、5時間目に愛媛県医療技術大学から講師の先生をお迎えし「命の誕生」についてお話をいただきました。生徒は、プライベートゾーンや性的接触について、そして、望まない妊娠を防ぐために大切なことなどを学びました。また、時間の後半には本校教諭のご長男をスペシャルゲストとして迎え、実際に赤ちゃんに触れ合う時間を設定しました。抱っこをさせてもらうなど、改めて命の尊さを実感することができました。赤ちゃんを見ているだけでみんな笑顔になるととても温かい時間となりました。

続いて6校時には、「互いを大切にできる関係になるためには」をテーマに学級で話し合いを行い、相手を尊重することや自分の気持ちを伝えることの大切さについて考えました。もうすぐ義務教育を終える3年生にとって、命や性について見つめ直す大切な学びの時間となりました。講師の先生、ご協力ありがとうございました。

○断ることができる人に（生徒の感想①）

同じ中学生でも、望まない妊娠をして、相談をする人もいるということに一番驚きました。同意なしでそういうことをするのは、もちろんいけないことだけど、断るということもとても大切だと思いました。相手のためにも、自分のためにも、断るということがしっかりできるような人になりたいと思います。私もしっかりと相手の気持ちを考えて行動できるようにしたいです。また、自分の気持ちははっきりと言葉で、相手に伝えるようにしたいです。先生の息子さんにあえて本当によかったです。すごく可愛かったです。貴重な体験ができました。ありがとうございました。

○相手のことを思いやる（生徒の感想②）

今まで知りたくても、少し言いづらい「性」について知れてよかったです。男性も女性も両方相手のことを思いやり、無理強いをしないことが大切だと改めて感じました。プレゼンで、先生たちの赤ちゃんの頃の写真は今とほとんど変わってなくて、とっても可愛かったです。やはり、妊娠、出産、育児、これらはとても大変なことだと改めて認識しました。今、私たちが望まない妊娠をしてしまえば、私たちの将来がなくなってしまいます。そのようなことにはならないためにも、恥ずかしがらずに、性のことについて深く学ぶことが大切だと思いました。



【講師の先生からのお話】



【赤ちゃんを抱っこする生徒】



【学級での話し合い活動】

○表彰伝達式

2月27日に第7回表彰伝達式を行いました。えひめっこピカイチ大賞で読書部門特選、タイピング部門入賞、えひめこども美術展で書写部門半紙の部入選(2名)、絵画の部入選(3名)、デザインの部入選、愛媛県学生書道展半紙の部銀賞、中予地区団体対抗ソフトテニス大会で男子ソフトテニス部が第3位、柔道競技で瀬戸内少年柔道大会女子中学48kg以下の部第2位となり、18名の生徒が表彰を受けました。文化面、運動面での活躍をみんなで激励・賞賛しました。特に運動部については、関係の皆様、大会会場への送迎や応援等ありがとうございました。



【えひめっこピカイチ大賞表彰】

【えひめこども美術展表彰】

【男子ソフトテニス部】

○入生者説明会(生徒会・2年生)

2月16日、令和8年度に湯山中学校へ入学する予定の6年生児童を迎え、新入生説明会を開催しました。保護者の皆様にも一緒にご参加いただき、入学を前に、小学校との違いについて知っていただくとともに、中学校での生活についてイメージを膨らませていただきました。また、今年は、歓迎の気持ちを込めて2年生が合唱を披露する場面を設定しました。少年の日の時よりもさらに磨きのかかった歌声が柔剣道場いっばいに響き渡り、6年生や保護者の皆様から大きな拍手をいただきました。続いて生徒会役員による学校紹介を行い、湯山中学校の一日の流れや行事の様子などを、生徒が主体となって分かりやすく紹介しました。生徒ならではの視点で工夫された内容に、会場からは自然と笑顔がこぼれていました。6年生の皆さんには、小学校で学ぶべきことをやり遂げ、胸を張って4月から湯山中学校の門をくぐってきてもらえたらと思います。来年度新しい仲間を迎え、湯山中学校がさらに発展していくことを心から楽しみにしています。



【2年生による歓迎の合唱】

【説明会の様子】

【生徒会が作成した動画】

○道後村めぐり(2年生「少年の日記念行事」)

3月6日に、2年生が少年の日の記念行事として、「道後村めぐり」を行いました。班別自主研修を実施することにより、学級の親睦を深め、連帯感を高めることをねらいとしています。当日の午前中はお天気に恵まれ、観光日和となりました。生徒は、歴史・文化・文学・自然に触れながら、いで湯と文学の里をじっくりと味わうことができたようでした。また、郷土の観光地を巡ることにより、郷土を愛する心を育むことができたように思います。5月には修学旅行で班別自主研修を行います。この活動が様々な場面で生かされることを期待しています。



【各ポイントを巡る生徒】



【全員無事ゴール】



【道後公園でお弁当】

○クラスマッチ（1年生）

3月5・6日に、1年生が学年最後のクラスマッチを実施しました。今回は事前に希望調査を行い、生徒が企画から運営まで自分たちの力で活動することを目標に準備を進めてきました。1日目は、体育的活動としてドッジビーや全員リレー、8の字跳びなどの7種目を行いました。2日目には、文化的活動としてクイズ大会や伝言ゲーム、五色百人一首などの8種目を行いました。また2日間に渡る大きな企画でしたが、生徒の表情にはやり遂げたという満足感があふれていました。楽しい時間を共に過ごす中で、チーム内で応援し合ったり、互いの健闘をたたえ合ったりする温かいクラスマッチを作り上げることができていました。



【借り人競争(1日目)】



【紙コップタワー作り(2日目)】



【実行委員による運営】

○予告なし避難訓練

2月9日の午後に「予告なし避難訓練」を実施しました。予告を一切せず昼休みに実施したため、避難の放送があったときには、生徒はいろいろな場所にいることになりました。いざ実行してみると、放送の音が届きにくい場所にいた生徒は、初動が少し遅れるということも分かりました。しかし、多くの生徒は周囲の状況を見て現状を理解し、それぞれの場所で連鎖するようにシェイクアウトの姿勢（低く・頭を守り・動かない）をとることができました。訓練後の振り返りでは、生徒から「どこに戻るべきか迷った」「すぐには動けなかった」「隠れるところがなかったら、しゃがんで頭を隠す」「山から離れる」「日ごろからシミュレーションしておく」など、様々な意見が出ました。中には、放送がかかる瞬間の動画を撮影しておいて、それを見ながら振り返りをした学級もありました。とても効果的なフィードバックができたようです。



【階段にいた生徒の様子】



【垂直避難後の点呼】



【訓練後の振り返り】